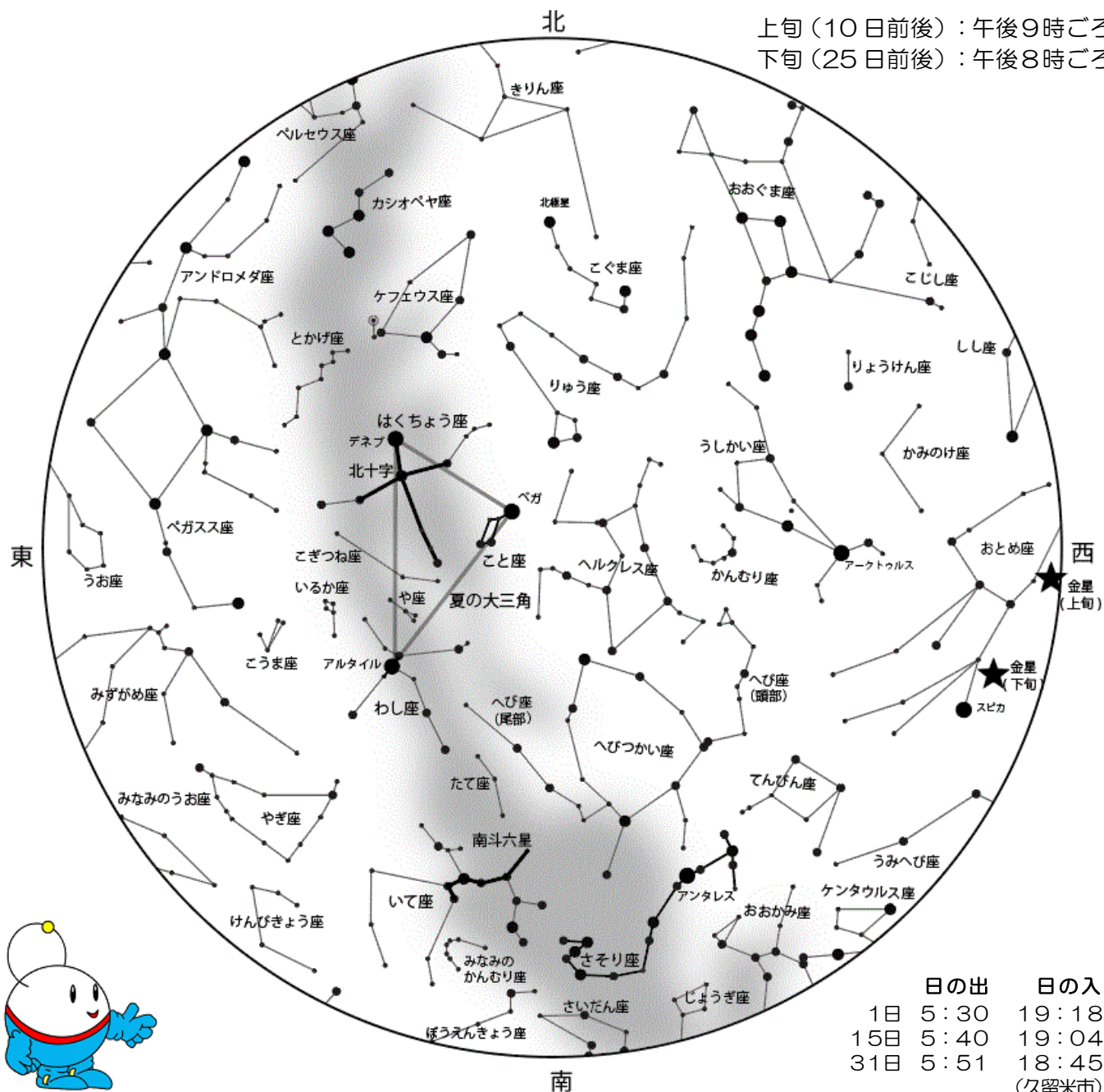


令和 8 年 8月の星空さんぽ

福岡県青少年科学館
TEL0942(37)5566



上旬（10 日前後）：午後9時ごろ
下旬（25 日前後）：午後8時ごろ



	日の出	日の入
1日	5:30	19:18
15日	5:40	19:04
31日	5:51	18:45

(久留米市)

暑い日が続き、夏本番ですね。8月の夜空では夏の星座たちが見頃を迎えます。まずは、明るく輝く3つの1等星を結んだ『夏の大三角』を探してみましょう。

はじめに目に留まるのは、夏の大三角の中で最も明るいこと座の1等星ベガです。ベガは「真夏の女王」とも呼ばれ、太陽を除く恒星の中で5番目の明るさで輝きます。こと座は、ベガとそのすぐそばにある小さな四辺形の星の並びが目印です。ベガから南東へ目線に移すと、わし座の1等星アルタイルが見つかります。わし座は、アルタイルとその両脇の2つの星が目印です。はくちょう座の1等星デネブはベガの北東に位置します。はくちょう座は、「北十字」と呼ばれる十字の星の並びが目印です。ベガは七タの「織姫星」、アルタイルは「彦星」としても親しまれています。

さらに南の低い空へ視線を下ろすと、赤く輝くさそり座の1等星アンタレスが見つかります。さそり座は、Sの字の星の並びが目印で、アンタレスはさそりの心臓で輝いています。その東側には、スプーンの形をした6つの星の並び「南斗六星」があり、いて座を見つける目印となります。

『夏の大三角』などの明るい星は、街明かりの多い久留米の夜空でも十分見つけることができます。夏の夜風に吹かれながら、星空の散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。

《8月の天文カレンダー》

日	曜日	天文現象	日	曜日	天文現象
6	木	● 下弦 (11:21)	19	水	伝統的七夕(旧七夕)
13	木	● 新月 (2:37)	20	木	● 上弦 (11:46)
		ペルセウス座流星群が極大	28	金	○ 満月 (13:19)

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (0.4~-1.8等)	: ふたご座→かに座→しし座	観望に適さない。
☆金星 (-4.3等前後)	: おとめ座付近	日の入り後、西の低空で輝く。
火星 (1.3等)	: おうし座→ふたご座	日の出前、東の低空で輝く。
木星 (-1.8等)	: かに座付近	観望に適さない。
☆土星 (0.5等前後)	: うお座付近	真夜中、南東の空で輝く。

注目の天文現象(8月) ~今年のペルセウス座流星群は条件良好!!~

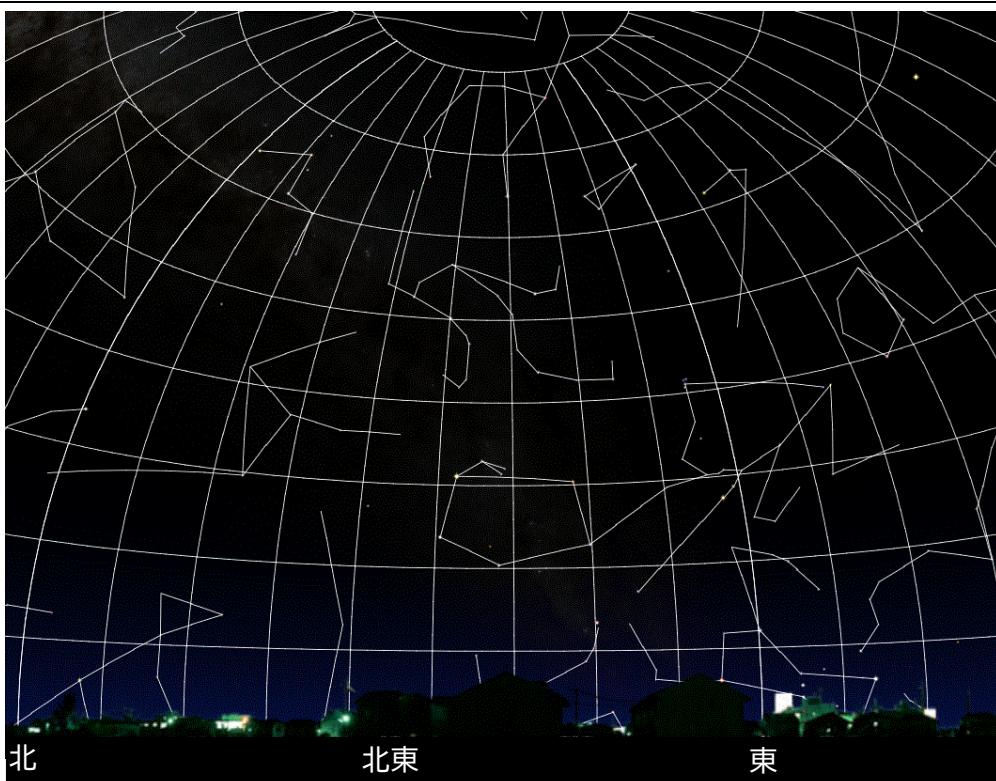
三大流星群の一つ「ペルセウス座流星群」が、8月13日11時頃に極大を迎えます。極大日が新月にあたり月明かりの影響がないため、今年は絶好の観察条件です。

見頃は12日夜から13日未明と、13日夜から14日未明の2夜です。特に13日の薄明が始まる直前は最も数が多く、暗い場所では1時間で35個程の流星が期待されます。火球や流星痕にもご注目ください。

流星は放射点に限らず空

【ステラナビゲータ 11/株式会社アストロアーツ】

全体に現れます。レジャーシート等に寝転び、空を広く見渡すのが観察のコツです。目が暗さに慣れるまで最低15分は観察を続けましょう。マナーを守って、安全に観察をお楽しみください。



《天文イベントのご案内》

☆市民天体観望会 ①8月8日(土) ②8月22日(土) 各 20:00~21:00 要予約



天上の宝石「アルビレオ」と夏の星座をたのしもう

- 対象: 制限なし(ただし中学生以下は保護者同伴) ■定員: 100名 ■参加費: 無料
 - 予約: ①7月25日(土) ②8月8日(土) 各9:30から、オンラインにて予約受付開始
- プラネタリウムで星空解説を聞いた後、科学館屋上にて望遠鏡を使って天体の観察を行います。ぜひ、本物を見る体験を!(観望ができない場合でも、プラネタリウムでの星空解説を行います。)



○オンラインでの予約受付について

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せ下さい。(☎0942-37-5566)

ご予約用QRコード

